



新宿小だより

令和5年3月学校評価及び保護者アンケート結果 特別号

学校教育目標

やさしく
かしこく
たくましく



ホームページQRコード

学校評価について

学校の自己評価及び学校関係者評価がまとまりましたので、ご報告いたします。また課題につきまは、改善策をたて、教育活動の一層の充実に努めて参ります。

A：よくできている。特に課題は見あたらない。

○良いところ

B：概ねできているが、課題も少し見受けられる。

●課題

C：あまりできていない。課題も多く見受けられる。

☆改善案

D：できていない。課題が多く、解決には相当の努力が必要である。

領域	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見
組織・運営	1 学校は特色ある学校づくりを目指しPDCAサイクルのもと、学校行事や学級経営、教科経営、分掌経営にあたり、学校教育目標達成に向けて組織的に取り組んでいる。	B	○校長室便り等で、学校教育目標への指針を周知している。 ▲児童に返すテストやプリント等、学年間でぜひ声かけしてほしい。 ○▲学校教育目標と子どもたちの実態を照らし合わせながら、達成に向けた取り組みを考えたり、活動を始めたりすることが、意識的にできていた。 ▲もう少し学校全体で共通理解する必要がある。 ☆職員会議資料を読む時間を設定すると、会議がより有効なものになるのではないか。 ☆PDCAサイクルをさらに意識したい。	A	○組織的に取り組んでいると感じることがよくある。
	2 学校は倫理確立委員会を機能的に活動させ、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事を根絶させるために取り組んでいる。	B	○職員会議等で、事故等防止に向けた発信がよくあり、危機意識をもつ機会になった。 ○倫理確立委員で定期的な話があるので、児童への対応や車の運転等、自分も気をつけよう意識ができた。 ☆周知以外にも、全体のざっくばらんな意見交流等、風通しをよくする場としての取り組みがあると、より機能的になっていくかもしれない。	A	○早期の対応ができることはよい。
	3 学校は災害や事故等のマニュアルを作成、迅速に対応できる体制を整えるとともに、内容を教職員に周知させている。	B	○マニュアルが今年度にさらに整備された。 ○避難訓練・不審者情報・安全についての話により、児童に避難方法を学習させている。 ○▲職員会等での周知、訓練、研修等は計画的に行われていたが、現状、実際に起こったときに、基本的な対応が思い浮かぶレベルの周知にはなっていないように思う。いざ迅速に動くことができるか不安がある。 ▲毎年同じ方法で行うことができると、慌てずみんなが行動できる。 ▲避難訓練や不審者対応訓練などの提案は、4月に年間計画として出したほうがよい。 ☆不審者が来た時の机対応も職員で実際に想定して研修などできると良い。 ☆次年度は、外部機関を活用し、教職員研修を実施していきたい。	A	

	4	学校は組織的に環境美化に努めるとともに、施設設備の適切な管理を行っている。	B	<p>○定期的に点検行い、施設設備のこまめな管理を行い、必要に応じて迅速に修繕を行っている。</p> <p>○用務員さんをはじめ、PTAの方々など、定期的なごみ捨てや落ち葉掃きなど校内の美化に積極的に取り組んでいただきありがとうございます。</p> <p>▲職員室の机上や教室の整理整頓をする声かけを行ったが、まだ全職員ができていない状態ではない。</p> <p>▲☆予算が厳しい。壊れたものが修繕・購入できると助かる。少しずつ修繕をしているが老朽化している箇所がたくさんあり、財務課の支援が必要。</p> <p>▲☆特別教室の使い方で、使いっぱなしでは児童に示しがつかない。児童に「使ったら元の位置に戻す!」「来た時よりも美しく!」と指導するならば、先生方も意識するべき。</p>	A	<p>○学校の周囲や校庭などは、きれいに掃除されている。</p> <p>○児童にプランターで花を育てさせることによって、環境美化意識を持たせるように努めている。</p>
教育課程・学習	5	学校は教育課程の編成・実施・評価を通し教育活動の充実改善を行っている。	B	<p>○教育課程検討委員会で定期的に見直しをしていた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症により混乱が生じる部分もあるが、おおむねできている。</p> <p>▲教科によって差がある。</p> <p>☆教育課程のさらなる見直しを進めたい。</p> <p>・6年生で実施している一部の教科担任制は、時間割融通の難しさはあるが、教員の授業準備や児童の学習の理解度などの点では利点も多くあると感じる。</p>	A	○教職員の共通理解が感じられる。
	6	学校は、個に応じた指導を行うなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための取組を工夫している。	A	<p>○特別支援・スマイル教室・低学年の算数T・T・支援員・補助員さんなど、特別な支援が手厚い。通う児童も楽しそうに通っている。</p> <p>また、校長先生の特別支援教育に関する助言等が、多くの児童の支えに結び付いている。</p> <p>○学生ボランティアを活用した。</p> <p>○算数の学習でも個別の配慮をしながら進めている。算数の習熟度別学習の研究などを取り組んでいると感じた。</p> <p>○国語の学習で、カフトを使って復習させていた学級があったので、面白いと感じた。</p> <p>○出入りが柔軟な特別支援学級。かかやき学級で行っている個別対応を聞いて、クラスでも実践できている。</p> <p>○▲基礎的な知識・技能の習得に力を入れ工夫もしているが、家庭の協力も不可欠であると感じる。</p> <p>・コグトレは次年度もぜひ続けていきたい。</p>	A	<p>○スマイル教室の考えはおもしろい。児童からの意見や感想が気になる。</p> <p>○児童の態度を見ると、個に応じた指導をしていると思うことが多い。</p>
	7	学校は川越市小・中学校学力向上プランを踏まえ、児童生徒の思考力判断力、表現力の育成のために、授業改善に取り組んでいる。	B	<p>○「学習スタンダード」を意識して授業を行っている。めあてとまとめは必ず板書していくと、何をしているのかが途中から出入りしても分かる。</p> <p>○学校研究・研修・教材研究など 常に授業改善に取り組んでいる。</p> <p>○算数科において、自分の考えを表現する授業展開の研究に取り組んでいる。</p> <p>○学年内でどのように指導をしていくかを統一して、児童に適した授業を計画している。</p> <p>○振り返りを書く習慣ができた。</p> <p>▲もう少し学年内で授業の進め方を話し合い、学習を進めていく必要があるのでは。若い先生も多いので、基礎的なことが学べる研修などがもっとあるとよい。</p> <p>・校内研修ではなく、ブロック研修や師範授業などでも、若い先生は自ら授業を見に行っただほうが力になると思う。</p>	A	

	8	学校は学習ルールを定めて落ち着いた授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	B	<p>○始業・終業のあいさつ、黒板掲示、各学年・教科・領域部の情報共有によって、共通理解のもと指導にあたっている。統一されたルールがほぼ確立している。</p> <p>○▲基本的な学習規律を、年度当初に共通理解しているが、学級によって問題、課題等のノート指導が異なる場面があった。</p> <p>▲学習用具や身だしなみ（筆箱、ネイル、大きいカチューシャ）などに気付いた際の一貫した指導が必要。</p> <p>▲授業中は静かに廊下歩行することの徹底、始業と終業の挨拶の仕方の統一が必要。</p> <p>▲「新宿小よい子のやくそく」は児童にも配布すべき。4月にクラスで確認したほうが、学級規律にもなる。</p> <p>☆新宿小として、自主学習のすすめなど出せるとよい。</p> <p>☆ノート指導において、「赤い線を引く・引かない」「定規を使う・使わない」等の細かい部分も再確認したい。</p> <p>☆Chromebookの使い方のルールをもっと徹底したほうがよい。</p>	A	<p>○授業スタイルが一目で分かる。その日に行う内容、終わりが見える授業は、児童にとって飽きないと思う。</p> <p>○授業参観の際、児童は落ち着いて勉強しているので、良い指導や環境づくりに努めていると思う。</p>
	9	学校は、児童生徒の体力向上に向け、児童生徒が体育や部活動・外遊びに意欲的に取り組むよう指導している。	B	<p>○学習活動の制約の中、非常によく工夫して体力向上に向けて指導がなされている。</p> <p>○マラソンタイムのお陰で、進んでマラソンする子が増えた。</p> <p>○先生が児童と一緒に外へ出て、マラソンや鬼ごっこ等しているので意欲的に取り組んでいるように見えた。</p> <p>▲外遊びやマラソンに対する指導に温度差がある。もう少し教師も一緒にやったり、見守ったりしてくれないと厳しいのでは。</p> <p>▲低学年の10分休みの外遊びは、授業の開始に間に合わず、時間が守れていないので次年度の検討が必要。</p> <p>☆運動が苦手な児童でも外に出る手立てをいくつか考えていきたい。</p> <p>・投力等を高める取り組みもしたい。</p>	A	<p>○岸町3丁目地内にある岸町健康ふれあい広場で動き回る児童の姿を見ると、外遊びに意欲的に取り組むよう学校が指導していると思う。</p>
生徒指導	10	学校は、児童生徒の豊かな心を育み、適切な生徒指導を行っている。	B	<p>○話を聞き、素早く対応、指導をしていると思う。</p> <p>○▲毎月、生徒指導委員会を開いて問題行動等の共通理解を図っているが、全体での真の共通理解は難しい。</p> <p>▲問題が起こる前、問題が大きくなる前に指導できればいいが、対応が遅れてしまうこともあるように感じる。</p> <p>▲保護者から連絡があったとき、電話を取った職員からの情報共有が遅れ、担任との行き違いがあった。</p> <p>☆今後、中学校や幼保との連携を推進していけるとよい。</p> <p>・マイナス思考ではなく、プラス思考に促す言葉遣いに気を付けて指導している。</p> <p>・挨拶、廊下歩行、黙々清掃等、共通理解・共通行動で生徒指導ができるようにしたい。</p>	A	
	11	学校は、児童生徒の主体的な取組を重視し、規範意識を高める指導を行っている。	B	<p>○高学年が主体的に取り組む特別活動や行事等が、コロナ禍から多少復活してきた。</p> <p>○クラブ活動や児童会活動など、主体的な取り組みが行えている。</p> <p>▲学校が公共の場であるという意識が低く、指導が困難な児童がいるが、少しでも児童同士の軋轢を生まないようにしたい。</p> <p>▲規範意識を高めるのは、なかなか厳しい。</p>	A	

	12	学校は、いじめや差別を許さない態度を育成し、児童生徒が生命の大切さを学びお互いの良さを認め合える指導を行っている。	B	<p>○話を聞き、素早く対応、指導をしている。</p> <p>○教員はいじめアンケートやお話タイム、会議等により、いじめについての共通理解を図り、教員同士が連携し指導を行っている。</p> <p>○クラスのいいところ探しはとても有用であった。定期的によってもいいのではないかな。</p> <p>▲☆指導が難しい児童が存在するが、家庭にも呼びかけていきたい。</p> <p>▲心ない言動やネット上でのトラブルなどがあるので、引き続き指導が必要である。</p> <p>☆いじめアンケートは、時期の考慮等、できるだけ落ち着いて取り組める工夫があると良い。</p> <p>☆人権感覚育成プログラムを年間指導計画に入れ、全学年で取り組んでいくようにする。</p>	A	<p>○家庭・地域・関係機関との連携も大事だが、児童への日ごろの指導が行われていることはよいと思う。</p> <p>○いじめはないように思われる。</p> <p>・大変さを感じる。</p>
家庭・地域との連携	13	学校は、開かれた学校づくりを目指して、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。	B	<p>○様々な学校行事や保護者会等、少しずつ対面で行う部分を増やすと同時に、オンラインも活用しながら、教育活動を進めてきた。</p> <p>○学校からのおたより・メール・フォーム・アンケート・電話対応など積極的に情報提供を行っている。</p> <p>▲様々な要望を配慮し過ぎて、教職員の負担が大きくなっている部分がある。</p> <p>・地域ふれあい祭りに参加し、地域があつての学校、地域とのつながりが大切と思った。</p> <p>・そろそろ公開日や授業参観がコロナ前と同じようにできるとよい。授業だけでなく、休み時間も見ていただきたい。</p>	A	<p>○各家庭や学校関係者への学校便りの配布がある。</p> <p>○各家庭にオンラインにより学校状況を配信している。</p> <p>○地域住民に対し、学校公開や運動会等への見学案内を配布している。</p> <p>○地域住民に対し、学校行事の公開や招待を実施している。</p> <p>○学校公開を通し、学校の実情を周知している。</p>
	14	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用している。	B	<p>○学生ボランティアを多く活用した。</p> <p>○出前授業等を積極的に行った。</p> <p>○ミシンボランティアや町探検の補助など、たいへん有り難い。学習ボランティア、ミシンボランティア、昔遊び等、様々な方に大変お世話になった。</p> <p>○博物館の方が授業を行うのは児童の様子からとても有効であったと感じる。もっと機会を増やしてもいいのではないかな。</p> <p>▲仕方がないことだが、コロナウイルスの影響で、地域の方の中にはたくさんの児童と接する機会を嫌煙する方もいる。</p>	A	<p>○以前から継続されていると思う。さらに今後も続けられるとよい。</p> <p>○地域の方々と連携を取り、子どもたちを見守っているようだ。</p> <p>○地域ふれあいまつり、新宿小まつり、昔遊びを教わろう（1年）、地域について（3年）、児童の登下校指導といった関わりがある。</p>
	15	学校は、家庭・地域と連携協力し、児童生徒の課題解決を図っている。	B	<p>○教育相談を定期的実施している。</p> <p>○家庭とよく連絡を取っている。</p> <p>○学校として全体的に、丁寧な対応を心がけている印象。</p> <p>▲コロナ禍で仕方ないとは思いますが、授業参観なども1時間見ていただいた方が保護者の方も落ち着いて子どもを見ることが出来る。</p> <p>・スクールガードさんや民生児童委員さん、地域の見守りの方には、大変お世話になっている。</p>	A	<p>○きめ細かい配慮をしていることが分かる。</p> <p>○自治会長会議等の場で、地域へ学校の現状や問題点を伝えることで、児童の課題解決を図る一助としている。</p>
	16	学校は、学校研究として「個別最適な学びと協動的な学びを実現する算数授業」の実践・工夫・改善に努めている。	A	<p>○研究授業等を通じて、教科や授業法への理解を深めている。来年度の委嘱研究発表に向け、全職員が自分事として取り組んでいる。</p> <p>○校長先生、研究主任、推進委員長等のリーダーシップの下、実践に取り組んでいる。</p>	A	<p>○全国学力・学習状況調査、埼玉県学力学習状況調査の結果から、その効果が感じられる。</p>

			<p>○各学年で協力しながら実践・工夫について考え取り組むことができていると思う。</p> <p>○▲個別最適な学びのために環境を自分で選んで学習できたのは良かったが、ICT教育を中心に置いたため、授業を考えた時に全てにおいて本当に必要なのか疑問に感じた。</p> <p>・研究したことを整理し、今後どのような方針や活動をしていくのかが重要だと感じる。</p>		○工夫改善していることが分かる。
17	学校は、「新宿っ子3つの柱+1」（笑顔であいさつ、温かい言葉遣い、もくもく清掃+廊下歩行）が子供達に定着するよう努めている。	B	<p>○「もくもく清掃」が定着しつつある。児童に意識させる試みとして、「黙想」はよかった。始まって間もない取り組みだが早くも効果が出ており、教職員の、共通理解のもと取り組んでいこうという気合いも感じられる。時間に間に合わなくて苦慮する児童がいるが少しずつ指導が入っていけば、全体の時間管理につながると思う。</p> <p>▲挨拶と廊下歩行が次年度の課題だと思われる。</p> <p>▲「3つの柱+1」を全職員が意識して指導できているとは言えない。あいさつ、廊下歩行は、引き続き指導が必要。</p> <p>▲「笑顔であいさつ」は、特に週初めの朝が厳しい。何か方策がないものか。</p> <p>▲もくもく清掃、黙想の取り組みはよいが、形だけにならないよう、黙想の意味を児童に理解させるべき。廊下歩行はクラスで移動する際、各担任がしっかり指導するべき。教職員が手本となるように実践してみるとよい。</p> <p>▲黙想はかえって掃除を時間内に終わらせにくくしている。</p> <p>☆6年生が手本となり、下級生が見習うという校風ができるとよい。小中連携で、中学生の挨拶活動や清掃を高学年が見学し、「縦割り活動」や「縦割り清掃」等を行うとよい。</p> <p>☆掃除のときは、先生方も声を出さないでやっていきたい。</p> <p>・廊下歩行はもう一度よく、全校で確認する必要がある。普段の生活の中で高学年がお手本となれるような場面がたくさん見られると学校全体で定着するのでは。子ども達の前に教師が意識し行動することが大切だと思う。</p>	A	○登下校時などで、よく挨拶ができている。
18	学校は、「ふるさと学習」として、地域や川越に関する学習を積極的に取り入れ、新宿小学校の児童、川越市の児童としての誇りを育てている。	B	<p>○社会科や総合での学習だけでなく、地域の方と関わる行事や学校周辺を巡る校外学習等で、「ふるさと」を学んでいる。</p> <p>○今年度は様々な市制100周年のイベントが充実していたこともあり、それらを活用しながら、教育活動を行うことができた。</p> <p>○はばたきの学習で「川越市のよいところ」を調べ、誇りを持たた児童が多い。（3年）</p> <p>○▲ふるさと学習はあまり取り組めていないが、100周年を記念して川越市の歴史を知ることができた。</p> <p>・川越市は比較的特色をとらえやすい「ふるさと」だと思うので、総合等をきっかけにもっと積極的に取り組んでいければよい。</p>	A	○社会人になっても初対面の人と話すきっかけは、出身地の話題が多い。お国自慢の情報は、たくさん持っていたほうが話がはずみ、よいと思う。

令和4年度保護者アンケート調査結果について

昨年12月に実施しました保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。遅くなりましたが、結果のご報告をいたします。（回答数285件）

【A：当てはまる B：大体当てはまる C：あまり当てはまらない D：当てはまらない E：わからない】 (%)

No	評価項目	A	B	A+B	C	D	E
1	お子様は、学校に行くのを楽しみにしている。	39.6	45.3	84.9	12.3	2.8	0
2	お子様は、自分の学級が楽しいと言っている。	45.3	41.4	86.7	7.0	3.0	3.3
3	お子様は、仲のよい友だちがいる。	61.4	31.6	93.0	3.5	0.1	3.4
4	お子様は、先生に相談できる。	22.8	47.7	70.5	16.5	6.0	7.0
5	お子様は、授業を理解している。	37.5	49.8	87.3	9.5	1.8	1.4
6	お子様は、新宿っ子3つの柱「笑顔で挨拶」「温かい言葉遣い」「黙々清掃」ができています。	17.9	62.8	80.7	6.9	0.1	12.3
7	学校の教育活動に満足している。	27.4	63.5	90.9	4.5	2.0	2.6
8	学校は、学年・学級の教育活動の充実に努めている。	30.9	57.5	88.4	4.5	0.1	7.0
9	学校は、「一人一人が輝き、ともに伸びゆく」ための授業や活動の実践に努めている。	21.4	59.6	81.0	7.0	0.4	11.6
10	学校は、子どもを理解し、個に応じた指導の充実に努めている。	21.8	55.8	77.6	11.9	2.1	8.4
11	学校は、家庭や地域との協力・連携による特色ある教育活動の充実に努めている。	23.9	57.2	81.1	7.0	1.4	10.5
12	学校は、豊かな心を育成しようと努めている。	23.9	55.8	79.7	7.6	0.1	12.6
13	学校は、児童が健康で安全な生活を送ることができるよう努めている。	37.2	54.4	91.6	4.0	0.3	4.1
14	本校の学校教育目標が「やさしく・かしこく・たくましく」であることを知っている。	69.1	24.2	93.3	2.5	2.0	2.2
15	学校の教育活動に参加または協力している。	29.8	59.6	89.4	7.9	1.2	1.5
16	学校は、保護者が参加しやすいように行事等を工夫している。	28.1	56.5	84.6	8.0	3.8	3.6
17	学校は、教育情報の提供や家庭への連絡を積極的に行っている。	33.0	52.3	85.3	9.8	2.0	2.9
18	学校は、保護者や地域の願いに応えている。	18.9	56.8	75.7	9.5	1.5	13.3

- ・AとBを合わせて90%以上の項目がありますが、一方で70%台の項目も見られます。
- ・特に、「4 先生に相談～」「6 お子様は、新宿っ子3つの柱～」の項目改善を職員で共有し、「18 学校は、保護者、地域の願いに応えている。」の向上につなげていくよう努めます。
- ・今年度は、「わからない」という回答が多くありました。コロナ禍において学校の教育活動が見えづかった点については、オンラインも含めた行事への参加や協力が得られるような工夫や、積極的な情報提供をさらに進めていきます。困難な点もありますが、保護者や地域の皆様のご協力をぜひよろしくお願いいたします。

<教育活動全般に関するアンケートについて>

様々なご意見をいただき、ありがとうございました。下記はご意見等の一部を集約したものです。言葉の問題は教職員として重く受け止め、次年度への指導にも生かしていきます。また、各種行事については、ご家庭の現況によりご意見が大きく異なっておりましたが、ご意見等を職員で共有し、工夫・改善いたします。

- ・コロナ禍以降の行事に工夫を！・言葉のきつい子どもがいる。・いじめについては指導徹底をお願いします。
- ・子どもがもっと質問しやすい環境づくりをしてほしい。
- ・先生も言葉を選んで指導してほしい。
- ・Chromebookの使用の工夫を考えてほしい。

次年度は新型コロナの対応が緩和されることが予想されますが、運動会や音楽会、その他の参観行事等を検討していきます。お便りやメール等を活用し、丁寧に情報をお伝えしていきます。